

ポスターセッションをしよう


年

組

番
名前

かおりさんとあきとさん、なおこさんのグループは、耳の不自由な方の生活について調べたことを、学習発表会でうちの方たちにも伝えようと考えました。そこで、必要なしりようを集め、ポスターを作りました。

耳の不自由な方の生活
～わたし達にできることは～



会話はどうしているの

- ・手話を使う人が多い。
- ・身ぶり手ぶりでも伝わる。
- ・メモ用紙を持ち歩いて書いたり書いてもらったりして会話する。

生活はわたし達と同じ

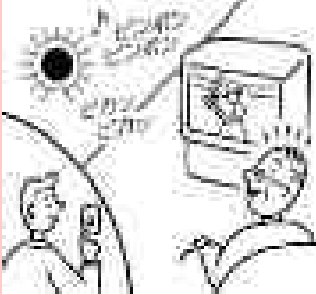
ふだんの生活はみんなと同じ
むかしより便利な物がふえた

- ・文字が出るテレビ
- ・ファックス
- ・メール など

町の中
こんな時、困ります

- ・後ろから自転車が来た時
(ベルが聞こえない)
- ・後ろから呼びかけられた時
(聞こえないので
行ってしまふ。)

特別な道具



フザーがなると光るライト

わたし達にできることは
聞こえていないと思ったら手をさしのべよう

一、発表するときポスターがあるとなぜよいのですか。

二、発表したいことの中は何でしょう。一つに○をつけましょう

- () 便利な道具を使って、わたしたちと同じ生活ができるからよかった。
- () 手話をおぼえないとなかよくできないので、手話をおぼえてほしい。
- () 便利な道具もあるけれど、町でこまることもあるので、わたしたちも手をかそう。

三、あきとさんはさいしよのあいさつと、「ふだんの生活」について話しました。二番目のかおりさんは、「会話について」を話します。

《かおりさんの発表》

□、会話はどのようにしてしているのかを発表します。

耳が不自由な人のほとんどが、手話を使っています。聞こえない人どうしは手話で話します。

では、手話ができない人とは会話ができないのでしょうか。

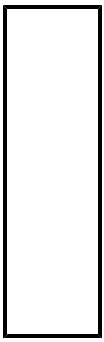
いいえ、そういうわけじゃない。実は、身ぶり手ぶりでも伝わるのがたくさんあります。また、耳の不自由な方は、メモ用紙や小さなボードを持ち歩いていて、会話の必要があるときは、そこに書いたり書いてもらったりして会話することができます。

(一) 二番目に話すので

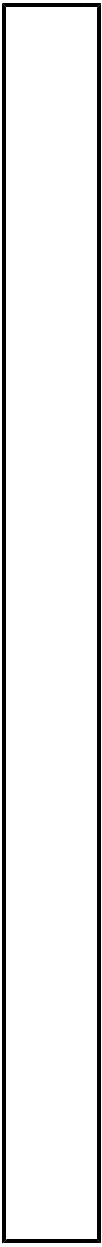


にはどんなつなぎ言葉を

入れるとわかりやすくなるでしょう。

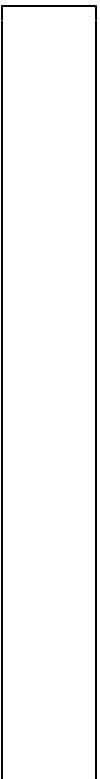


(二) 「では、手話ができない人とは会話ができないのでしょうか。」と、聞き手にしつ問するような言い方で話しています。このような言い方には、どのようなよさがありますか。



(三) 「いいえ、そういうわけじゃない」は、おうちの方への発表としてはふさわしくない言い方です。直して書いてみましょう。

いいえ、



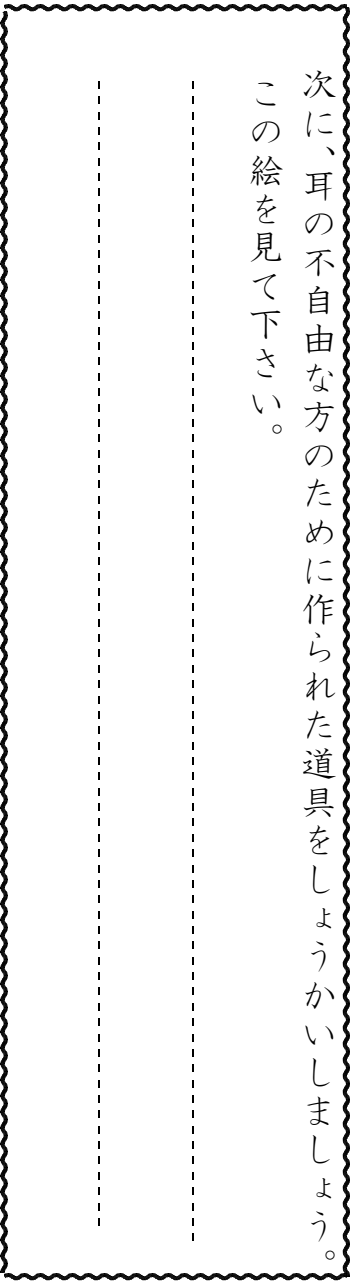
(四) なおこさんは、特別な道具について絵をさしながらせつ明します。

げんかん ブザー 光る ライト

この四つの言葉を入れてじっさいにせつ明する文章を作りましょう。

次に、耳の不自由な方のために作られた道具をしようかいしましょう。

この絵を見て下さい。



ポスターセッションをしよう (答え)

一、発表するときにはポスターがあるとよい理由

(例) 話したいことをわかるやすく伝えられる、絵があるとわかりやすい、
これから話すことの全体がつかめる など

二、

(○) 便利な道具もあるけれど、町でこまることもあるので、わたしたちも手をか
そうというよびかけ

三、

(一) つなぎ言葉

次に、

(二) **では、手話ができない人と話ができないのじゃうか。** について

(例) 聞き手に問いかけて、いっしょに考えてもらうため。
大切なところなので、聞き手の注意を引き出すため。など

(三) **いいえ、**

そういってはいけません。

(四) 特別な道具についての発表

次に、耳の不自由な方のために作られた道具をしようかいしましょう。
この絵を見て下さい。

(例) お客様が来て、**げんかんのブザー**を鳴らします。

すると、ブザーにはんのうして部屋の**ライト**が**光ります**。

このライトは、ブザーの音が聞こえなくても、お客様がげんかんにきたことが
わかる道具です。

この絵を見ると、げんかんの様子と部屋の中の様子が一つになっています。
ですから、まずは、げんかんを指しながらブザーについてせつ明し、次に部
屋の中を指してライトが光ることをせつ明する、という順番で話を進めていき
ましょう。

耳の不自由な方にとって、どのように便利なのかを書きくわえると、よりわ
かりやすくなりますね。